

第4回東北圏広域地方計画変更に関する有識者懇談会 議事要旨

1. 日時

平成24年11月30日（金）13:00～14:35

2. 場所

東北地方整備局 大会議室

3. 議事

- (1) 計画変更のポイントについて
- (2) 計画変更概要について
- (3) その他

4. 配布資料

資料1：東北圏広域地方計画 計画変更のポイント（案）

資料2：東北圏広域地方計画 計画変更の概要（案）

参考資料1：第3回有識者懇談会の議事要旨

参考資料2：東北圏広域地方計画の変更スケジュール

5. 議事

- (1) 計画変更のポイント・計画変更の概要について

<資料1・資料2について>

事務局より、これまでの有識者懇談会の意見を踏まえ整理した「計画変更のポイント（案）」及び「計画変更の概要（案）」について、説明を行った。

- ・ 今の説明を踏まえて、自由に意見をいただきたい。
 - ・ 「資料1」の計画変更のポイントから「資料2」のそれぞれの詳細まで、非常に良くまとめられていると感じる。重要な点が「5つの重点事項」に盛り込まれており、熟度、レベルが非常に高い。
 - ・ 「資料1」の左下、ここで議論していた「有識者懇談会における東北圏発展の論点」について、「他圏域への貢献」の部分が変更計画の中に見受けられないと思った。私が記載を見逃ししていただけたのかもしれないが、これは東北圏だからこそしっかり説明できる部分なので、明示できていたほうが良いと思う。
- 他圏域への貢献については、「資料2」のP11、「(1) 広域的な機能分担を踏まえ

た地域間連携の促進、協力体制の構築」の中の「非常時の対応に備えた平時からの備えとバックアップ体制の構築」に盛り込んでいる。

→ また、今回広域地方計画を変更するにあたり、施策そのものが今回の災害を踏まえた施策の集合体であることから、変更計画の発信そのものが他圏域への貢献であると考えている。

・ おっしゃるとおりだと思うが、書き方として、「これまで実施してきた対策でこれからはうまくいったから続ける、これはうまくいっていないところもあるので今後新たに変わっていく」というような、そうした事例、経緯を踏まえた記述が一つあると、他圏域の人が見て参考になると思う。

→ 今年5月に、協議会の各構成機関が災害対応を通じて得られた教訓、課題等を時系列で取りまとめた「東日本大震災教訓集」を作成し、全国、全市町村に発信した。これも他圏域への貢献の一つと考えている。

→ 今おっしゃった点については、第2章の課題整理の部分においてどのような事象があったかが分かるようになっているが、もう少し強調できるか検討したい。

・ 最終的な印刷物の中に、震災について1つや2つでも図表があると、インパクトがあると思う。内容を読み碎かなければ分からないというより、その方が良いと思う。

・ 既に計画本文の作成も始められていると思うが、作成にあたって、細かい点でいくつか気になる点があるため、後ほどメモを作成し、事務局にお渡ししたい。ただし、あくまで全て直してほしいということではなく、参考程度と捉えてほしい。

・ 産業の総合化、複合化についても記載したほうが良いのではないかと。例えば水産業と観光業の組み合わせなど、一つの産業だけに捉われるのではなく、様々な産業の組み合わせについても考えるべきではないかと。

・ 「福島第一原子力発電所の災害対応と継続的な取組」について、災害が発生した際の放射能に対する医療の問題を組み込んだ方が良いのではないかと。いざ災害が起きたときに、住民が放射能に対してどうすれば良いか分からない状況となっている。その背景となっている放射能に対する医療について、どのようにしていくかが日本の医療から抜けていると思う。

・ 高齢者単身世帯化という言葉が使われているが、高齢化とともに、単身世帯化というのは大きい問題だと思う。高齢化という言葉で括らずに、単身世帯化についても抱き合わせて考えていく必要があるのではないかと。

- 計画書の中に図表を入れてはどうかという点については検討したい。
 - 計画本文の作成作業については、現在、構成機関等様々な所で協議を行いながら進めている。その中で、漁業についても整理したい。
 - 産業の総合化、連携については、「6次産業化」という形で記載している。もう少し具体的に書けるかどうかについては検討したい。
 - 放射能の医療については、記載の仕方が難しい。基本的に、原発事故に対する記述は「福島復興再生特別措置法」の方針に基づき記載をしておき、それを踏まえつつ検討したい。
 - 単身世帯化については、おっしゃられたような単身世帯化の課題について確認した上で、対応を検討したい。
-
- ・ 放射能の医療に関しては、今後福島県立医科大学に低線量被ばくに関する施設が設置されると聞いており、弘前大学にも被ばく医療総合研究所が設置されている。東北地方には低線量被ばくの施設が設置されてきており、そうしたことも書いていただくと、先進的な取組の状況が反映できると思う。
 - ・ 原発事故に関しては、当初の方針では風評被害くらいしか入っていなかったが、今回、三つの柱の一つとして位置づけていただいております、大変嬉しく、感謝申し上げます。
 - ・ 「資料1」の「5つの重点事項」の「3. 広域災害に備えた地域間連携の強化」の中に「広域交通ネットワークの多重性」があるが、私は原発災害を受けて何が教訓だったかという点、やはりライフラインの電源の問題であり、多重性、多様性、独立性の三つが防災の基本だと思う。その点からすると、「多様性」という文言も入っていた方が良いと思う。「資料2」のP11には「多様な輸送モード」という文言も入っているが、「資料1」の中に「多様性」といった文言が入っていた方が良いのではないかと思う。
 - ・ 「4. 災害リスクを軽減する防災力の強化」について、今年茨城県つくば市で発生した竜巻被害や昨年の台風による豪雨など、極端な現象への対応についてもどこかに盛り込んでほしい。
 - ・ これまでは、想定をし、それに対応した対策をすることが要求されてきたが、国の予算からして今後は難しいと思う。今回、福島原発事故を経験し、「対策で対応できる範囲はここまでであり、その他これだけのリスクがある」といった、リスクを含めた防災対策、防災のあり方が重要だと思っており、盛り込めないか検討して

ほしい。

- 多重性、多様性については、「資料2」のほうに多様性、多重性、あるいは代替性という内容で盛り込んでいると考えているが、再度確認したいと思う。
- 極端な事象の災害への対応については、対応を検討したい。最近の北海道で起きた豪雪による停電も、これに関連した話だと思っている。
- 想定外ということでリスク管理のお話をいただいたが、例えば津波対策では、中央防災会議の専門調査会において「L1（発生頻度の高い津波）」と「L2（最大クラスの津波）」に分け、L2については逃げることとし、L1についてはきちんと対応していくという考えとなっている。現時点での変更計画案についてもそのような考えで記載しているが、記載内容については再度確認したいと思う。
- ・ 従来は想定をして、その中で対策をきめ細かく行っていたが、逆に言うと、対策できているのは想定の中だけで、想定外になると全く白紙になってしまう。これが今回の震災を踏まえた反省だと思う。想定外のことが起こった際に、対策は取れなくとも、どういった対応をとればいいのか明確にしておくことが重要だと思う。逃げるというのが対応だと思う。そうしたことを明確に示すことにより、地域の安全性が以前より進歩すると思う。
- ・ 全国と比較して農林水産業が強みであるが、農林水産業で一括りにせず、農業、林業、水産業で分けて書いてほしい。先ほどの説明では農林業についての対策と書かれているにもかかわらず林業について触れられていなかった。
- ・ 農業についての6次産業化は様々な議論が進んでいるが、林業については、東北には資源があるにもかかわらず、6次産業化が非常に遅れており、これが重要なポイントだと思う。ドイツでは自動車産業が24兆円の生産規模なのに対し、木材関連産業は20兆円である。日本では木材関連産業の統計を取っていない。今、環境問題で木が見直されている時期に、木材関連産業は波及効果が非常に大きいと思う。また、木材資源は地方部の発展していない市町村に多いので、木材関連産業が地域活性化にもつながると思う。さらに、林業関連産業で働く人は中高年であり、中高年の雇用対策につながる点も大きい。日本の木材の総需要のうち国産材は4分の1程度だが、国産材の供給を50%くらいに上げるべきではないか。今回の計画のような総合計画の中で木材を利用した地域づくりについて記載をし、各省庁協力して木材を地域資源として考え、6次産業化を進めてほしい。林業の振興というより、木材関連産業の振興としたほうがいいのでは。また、木材関連産業について、今後は

非統計を取ってほしい。

- ・ 防災力の強化については、「てんでんこ」という言葉があるように、個々人の防災意識を高めることが重要である。それが、まさに「てんでんこ」の行動につながっていくと思う。「災害の記録」と関係するが、例えばインターネット上のあるホームページで今回の震災の記録を見られるようにし、個々人がそれを見て自分の防災意識を高めるということも一つあると思う。ハード的な施設をつくるのが良いと考えていたが、現在発達しているインターネットで見られるようにするのが良いのではと考える。
- ・ 防災の情報通信についても、インターネットを活用したやり方があると思う。
- ・ 「資料2」P9に「1.被災地の復興と地域資源を活かした産業振興の推進」とあり、「(1)復興に向けた新しい地域づくり」、「(2)農林水産資源を始めとする地域資源の回復と地域産業の経営強化」の二種類について書かれているが、どちらも復興というイメージは非常に伝わってくるが、震災前の水準に戻すイメージである。復興ではなく、震災をきっかけに、更に一つ先に進むといった書き方にできないか。
- ・ 「資料2」P11の「(2)「命のみち」となる災害に強く多重性を持つ広域交通ネットワークの整備・確立」について、先ほど渡邊先生が多重性、多様性等様々な観点の整備が必要と言われていたが、その通りだと思う。また、「広域交通ネットワークの代替性・多重性の確保」の部分には「復興道路」や「復興支援道路」といった被災地における道路ネットワークが記載されているが、例えば福島県と宮城県の県境など、冬期に毎年通行止めとなるような道路がある。今回の復興に関する道路ネットワークだけではなく、通常時からの課題への対応についても盛り込んでほしい。
- ・ 道路以外のライフラインの強化についても触れるべきだと思う。北海道における大停電についても、対応を行っていれば防げたかもしれない。
- ・ 「資料2」P13の「(1)再生可能エネルギーの活用の加速化」について、木材は資源の一つであり、エネルギーの供給源でもあると思う。そのエネルギーは、木材を切る方、運搬する方、チップを作る方といった様々な方の力により供給することができ、また、それを購入する方がいる。そうするとお金が地域内でうまく回るので、地域経済の活性化になると思う。そういった取組を後押しするような表現にできないか。再生可能エネルギーの中で、木材についてももう少し考えて頂きたい。

- ・ 計画を立てた後、その進捗を毎回チェックすることが必要だと思う。そのために、どのようなデータによりチェックしていくかについて、第6章で書かれているかもしれないが、少し加えていただき、計画の中身を都度チェックしていることを示したい。また、それを基に更新できる部分は対策の内容を変えていくなどといったことも行っていただきたいと思う。
- ・ 前回計画の策定時から、計画がどのくらい進捗したかについての報告が無いと思う。現行計画が、今回初めて市町村の意見を反映して作ったということになっているが、3年過ぎて実際どうか。東北7県の一体的な形ということが繰り返し言われてきた中で、多くの場合、高速道路が一番期待されていた。3年経って、計画はあるが未だ着工が白紙の計画があるのはどうなのか。計画推進に向けて、各関係分野の委員会等が立ち上がっており、会議はしているが、実際には成果が上がっていないものもあるのではないかと。これは、組織はあるけれど予算がついていないからだと思う。3年過ぎていて、計画が全然動いていない部分については、なぜ動いていないのかについての説明責任があってもいいのでは。計画の推進に向けては、大雑把でもいいけれど、残り7年で少なくともこのあたりまではいきたいといった形を持っていないといけないと思う。計画の実施面においても、少し工夫が合ってもいいのではないかと。
 - 計画策定後のレビューについては、6章で計画のフォローアップについて記載している。
 - 5章の各広域連携プロジェクトについては、各プロジェクトの主な項目毎にプロジェクトチームを立ち上げ、進捗を図る取組を行っている。そのプロジェクトチームの中で、達成すべき目標を定量的なデータにより示し、その目標に向かって計画を進めてきたところである。
 - 基本的には、毎年モニタリングを行うことになっている。各圏域で、プロジェクト毎に進捗度を計るための適切な指標を設定し、分析を行っている。東北圏についても、平成22年度に一度モニタリングを行っており、二度目のモニタリングを行おうとしていたところであったが、東日本大震災が発生したため、当面モニタリング作業は中止することとし、今に至っている状況である。
 - 昔の全総などとは異なり、この計画は、計画に書いたからと言って、いつまでにこれをやるといった計画にはなっていない。予算と一体的にリンクするというようなものではなく、そこのご理解いただきたいと思う。

- ・ 計画通り全て進むと、政治家から官僚主義などと怒られそうだが、最近の政治の動きを見ると、官僚主義ということで、計画的なやり方を非難しているような感じがする。市町村からすると、高速道路の計画に期待して団地の整備などを行ったのに、高速道路の整備が遅れてしまうことにより、市町村の事業が赤字になってしまう。かといって、高速道路ができてからの対応では、ますます事業が遅れてしまう。計画の持っている良さが活かされていないと思う。市町村は道路整備にとっても期待している。また、道路整備が進んでいないところほど過疎地域であり、地域間格差が拡大している傾向にあると思う。今の道路整備の優先順位の考え方は地域間格差を拡大していると思う。計画推進にあたり、弱者である遅れている地域に夢を与えるような計画になっているといいと思う。
- ・ 海の放射能汚染についての記載が抜けているので、どこかで盛り込んでほしい。
- ・ 座長として全体のバランスを取る関係上、今日頂いた意見をどう扱うかについては、私に一任させてもらおうということで、ご了承頂きたい。
- ・ 今日の会議の結果を踏まえどのように直すかについて、本日欠席された方にも説明し、委員全体の同意を持って見直しを図っていくという形にさせていただきたい。座長として責任を持って欠席された方の意見も反映できるよう努力する。

(2) その他

<参考資料2について>

事務局より、計画変更の今後のスケジュールについて説明を行った。

- 計4回に渡り、熱心にご審議いただき本当にありがとうございました。先生方からいただきましたご意見につきましては、吟味させていただき、計画にできる限り反映させていきたいと思っています。また、座長にはもう少しお付き合いいただいて、ご指導をお願いしたいと思っています。本当に、長い間ありがとうございました。

以上

(速報版のため、事後修正の可能性がります)